おくすりナビ (2020年 4月号)

2 年生

医薬品の種類、薬剤師の役割

医薬品の種類(2種類)



処方せんがなくても、薬局、ドラッグストアで買うことができます



いりょうよういやくひん 医療用医薬品

必要

処方せんがないと、薬局で 受け取ることができません

薬剤師の役割

いゃくぶんぎょう **医薬分業**

-般用医薬品を買う 健康相談





医療用医薬品を受け取る





いやくぶんぎょう

病院で診察を受け、薬局で医療用医薬品を受け取ることを 医薬分業 といいます。

この仕組みにより、<mark>薬剤師</mark>が医師と連絡を取って処方ミスや疑問点を解消したり、<mark>薬剤師</mark>から 医薬品の使い方や注意点をじっくり説明してもらえるなどの利点があります。

また薬局では、病院に行くほどでない体調不良の方に一般用医薬品を販売したり、<mark>無料</mark>で健康相談を受け付けています。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会一 保健室に<u>薬剤師</u>が来ます 》

おくすりナビの内容、医薬品や健康、薬物乱用など について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで!

4月23日 13時05分 ~ 13時25分

作成·発行元 北陸大学薬学部 准教授 大柳賀津夫

准教授 大栁賀津夫(薬剤師) 准教授 岡本晃典(薬剤師)



